

子どもたちの学びを止めない！～ICT 端末等を活用したオンライン学習～

全国的に新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が急速に増加しており、今後、感染者の増加に伴う臨時休業等により、やむを得ず学校に登校できない児童生徒が増加することが懸念されます。こうした状況の中、子どもたちの学びを止めない取組のひとつとして、ICT 端末等を活用したオンライン学習の準備や実証実験が進んでいます。先進的な取組を紹介します。

オンライン学習実施に向けた取組

鳥取市立倉田小学校では、臨時休校した場合に備え、情報教育主任を中心にオンライン学習実施に向けて準備を進めています。その中で、通常の学習時間割とは別にオンライン学習時間割を作成しています。詳しくは、Classroom 鳥取県情報担当者ネットワーク (1/19) の「第9回 GIGA チャンの配信について」をご覧ください。(こちらの QR コードからもご覧いただけます。)



【職員研修の様子】

①「職員研修」(1/19 実施)

オンライン学習を想定して、学級を6グループに分け、6つの特別教室を使って校内でオンライン学習を行う。

②「全校一斉オンライン学習」(2/2 実施予定)

全校が給食終了後に下校し、5校時に学校と家庭を接続してオンライン学習を実施予定。

1 単位時間を基本 40 分とし、前半 20 分はオンライン学習、後半 20 分は適用題などのドリル学習として設定しています。

倉田小学校 オンライン学習時間割基本形 (全学年共通)

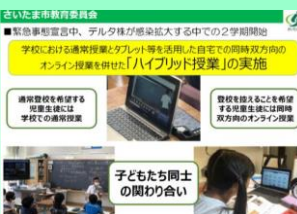
☆担任から Classroom で時間割を配信 (基本の時間割を基に作成)
Form による健康観察を入力をし、8:05 には Meet に接続

朝の会	8:10 ~ 8:20		
1校時	8:30 ~ 9:10	前半20分	オンライン学習 リモートによる双方向の授業
		後半20分	タブレットドリル 適用題 など
2校時	9:20 ~ 10:00	前半20分	オンライン学習 リモートによる双方向の授業
		後半20分	タブレットドリル 適用題 など
中間休憩	10:00 ~ 10:25		
3校時	10:30 ~ 11:10	前半20分	オンライン学習 リモートによる双方向の授業
		後半20分	タブレットドリル 適用題 など
4校時	11:20 ~ 12:00	前半20分	オンライン学習 リモートによる双方向の授業
		後半20分	タブレットドリル 適用題 など
【午後】	13:00 ~ 14:30		・運動をして体を動かす ・読書をする。 ・調べ学習などの自主学習 ・道徳の教科書を読んで感想を書く。 ☆15:00には午後の学習状況を Classroom 又は Google ドライブで報告する。

【第9回とっとり GIGA スクール構想推進チャンネル資料 令和4年1月】

ハイブリッド授業

他県では、学校での通常授業と ICT 端末等を活用した自宅でのオンライン授業を同時に行うハイブリッド授業が行われています。「『わかりましたか。』等の確認を多めに行うこと」「ジェスチャーを多めに使うこと」「オンラインの児童生徒と目を合わせる時間を確保すること」等、よりよい授業となるよう、校内で情報共有しています。



【GIGA StuDX メールマガジン第14号 令和4年1月】

ハイブリッド授業 実践のヒント

4 授業者の意識

- ・対面の授業を基本としながら、オンラインの児童生徒にも気を配る意識を持つ。
- ・オンラインの児童生徒とは「発言します」「以上です」「OKですか?」などの確認発言を多めに行う。
- ・オンラインの児童生徒の空気感が読めない場合は、双方向のコミュニケーションの場を作る。
- ・カメラにも時に目を向け、オンラインの児童生徒とも目を合わせる時間を確保する。
- ・ジェスチャーは普段の2割増しのイメージで行う。

寺子屋方式でオンライン授業

三朝町立三朝小学校では、地域の公民館5館と学校を接続する「寺子屋方式」と称する方法で、ウェブ会議システムを活用した遠隔授業に取り組んでいます。



【教育だより「とっとり夢ひろば!」第99号 令和2年8月】

オンライン学習は子どもたちに学びを保障する有効な手段ですが、保護者の理解等の課題も見られます。各学校の実態に合わせて、準備を進めていただけたらと思います。東部教育局としましても、新しい情報を収集し、随時発信に努めていきます。

